(別表第1の4)

事業所名 グループホーム桃太郎

作成日: 平成 24 年 8月 25日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先 して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】							
優先 順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間	目標達成状況 <u>(任意)</u>	
1	3	運営推進会議等の家族参加者に偏りが あったり、地域の方の参加が少ない。	たくさんの方に、参加していただく。	家族・地域の方の都合や要望・意見などを 聞ける場を設け、より多くの方が参加できる ような日時や内容を考える。	12 か月	9月15日に運営推進会議・地 域交流会・家族会を行い、よ り多くの方の意見やアドバイ スを頂けるようにしている。	
2	13	災害時、職員だけでの誘導には限界があるため、地域の方の協力体制の強化が必要である。	人命第一を考え行動できるよう、いろいろな 災害を想定した訓練を、日頃より地域の方 と一緒に行う。	全職員で災害マニュアルの見直し・災害対策の情報収集等行った上で、隣接する老人保健施設や自治会長と話し合い、具体的な支援体制を見直す。	12 か月		
3					か月		
4					か月		
5					か月		

- 注1)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。
- 注2)項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。
- 注3)外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。
- 注4)目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。

(別表第1の5)

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】								
実施段階			取り組んだ内容					
		(↓該:	該当するものすべてに〇印)) ①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った					
1	-							
		0	②利用者へサービス評価について説明した					
	サービス評価の事前準備	0	③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした					
		0	④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した					
			⑤その他(
2			①自己評価を職員全員が実施した					
		0	②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った					
	自己評価の実施	0	③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った					
		0	④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った					
			⑤その他()					
3			①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった					
	外部評価(訪問調査当日)	0	②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた					
		0	③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た					
			④その他()					
4	0		①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った					
			②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った					
	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	0	③評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った					
		0	④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った					
			⑤その他()					
5	サービス評価の活用 O O O		①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した					
			②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)					
			③「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)					
			④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)					
			⑤その他()					